

令和 8 年度「一般選抜（前期日程）」

出題の意図

「簿記・会計」

- ・ 各学部・学科の試験科目については、入学試験要項等を参照してください。
- ・ 出題の意図に関する質問や問合せには一切回答いたしません。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 3 日
教科・科目名	簿記・会計

I	「簿記・会計」の出題範囲のうち、特に「会計」の分野から出題しています。本問では、会計学においてきわめて重要な論点である資産の部、とりわけ棚卸資産の中から、「売価還元法」の意義について出題し、基本的な考え方を暗記ではなく、理解しているかについて記述問題を通じて解答することを意図しています。
II	教科書レベルでの基本的な処理に関する会計処理について、仕訳の形式で解答を求める出題をしています。本問では、仮払消費税の処理、固定資産税の納付、所得税の源泉徴収、自動車税の納付に関する処理および訂正仕訳問題の 5 つの分野から出題し、いずれも基礎的な知識を確認することを意図しています。
III	「簿記・会計」の出題範囲に関する計算問題と理論を融合して、会話文の穴埋め形式での解答を出題しています。本問では、財務分析に関する基本的な考え方を収益性分析（売上高総利益率、売上高営業利益率、売上高経常利益率の違いなど）および安全性分析（総資産負債比率）の複合的な問題を出題し、現場対応型での理解を問うことを意図しています。
IV	決算に関する問題を出題しています。本問では、「本支店会計」決算について、損益計算書および貸借対照表の両方を作成する形式により出題しています。決算整理の基本的な論点が中心ですが、教科書に準じて内部利益の除去については除外してあります。それなりに時間はかかりますが、決算に関する総合的な理解を確認しています。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 4 日
教科・科目名	簿記・会計

I	「簿記・会計」の出題範囲のうち、特に「会計」の分野から出題しています。本問では、会計学においてきわめて重要な論点である負債と純資産の意義について、基本的な考え方だけではなく具体的な勘定科目の計上区分について出題し、総合的な理解を確認することを意図しています。
II	やや高度かつ複雑な取引に関する会計処理について、仕訳の形式で解答を求める出題をしています。本問では、電子記録債権の発生、債権債務、収入印紙と郵便切手の処理、資本的支出と収益的支出および外貨建取引の 5 つの分野から出題し、いずれも比較的高度な知識を確認することを意図しています。
III	「簿記・会計」の出題範囲に関する計算問題を出題しています。本問では、連結財務諸表の作成と純資産に関する会計処理(剰余金の配当および増資の会計処理)の複合的な問題を出題し、両者に関する深い理解を問うことを意図しています。
IV	決算に関する問題を出題しています。本問では、通常の個別企業の決算について、精算表を作成する形式により出題しています。決算整理の基本的な論点が中心ですが、やや高度な論点や思考力が必要な論点も出題し、決算に関する総合的な理解を確認しています。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 5 日
教科・科目名	簿記・会計

I	売上などの収益をどのように認識するかについて、高等学校の教科書に基づき、新しい収益認識の考え方に関する基礎的な理解ができているかを問う問題です。
II	高等学校の教科書で学習した様々な取引の仕訳をどのくらい理解できているかを問う問題です。基本的な内容が十分に身についているか確認することを目的として出題しています。
III	株主資本等変動計算書について、どれくらい理解しているかを把握することを目的として、高等学校の教科書で学習した内容と同水準の問題を出題しています。
IV	個別損益計算書を作成する総合問題を出題しています。高等学校の教科書で学習した内容をめやすとして出題しています。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 6 日
教科・科目名	簿記・会計

I	収益に関する理論的な確認を行うための正誤問題を出題しています。収益に関する用語、理論的な考え方、実際の会計処理方法に関して幅広く出題することで、会計において重要な収益の捉え方の理解度合いを測ることを目的としています。
II	簿記・会計の教科書全体から幅広く仕訳問題を出題しています。伝統的な仕訳問題だけでなく、近年の経済活動で頻出する仕訳も意識し出題することで、簿記・会計の理論的な理解と現実のビジネスとの関係をどの程度理解しているかを確認することを目的としています。
III	商品売買の帳簿記録と期間損益および商品在庫の考え方を問うために、一定期間の商品売買を出題しています。
IV	近年、一般的になっているグループ会社の決算に関する理解を問うために、連結会計を出題しています。個別企業の決算処理と連結の決算処理を合わせて出題することで両者の切り分けを理解できているかを問うことも目的としています。

出題の意図

試験日	2026 年 2 月 11 日
教科・科目名	簿記・会計

I	固定資産会計の基本事項について問う問題です。現代会計の特徴である取得原価主義や減価償却など、会計学の基礎的な知識を習得しているかを確認することを目的としています。
II	商品売買など企業の日常的な取引についての仕訳問題です。仕訳の基礎的な知識および能力を習得しているかを確認することを目的としています。
III	リース債務、有価証券売買益、為替差損益、売上原価について財務諸表に計上する金額を問う問題です。決算整理事項について金額を正確に計算する能力を習得しているかを確認することを目的としています。
IV	連結会計における資本連結と成果連結の基本的な処理を問う問題です。連結精算表を作成するための基礎的な知識および能力を習得しているかを確認することを目的としています。